

オレンジサポーター座談会

参加者と主催者双方が楽しむことをモットーに一緒に集いの場『オレンジカフェ』を作り上げる。そんな活動の中で感じていることや活動の大切さについて、オレンジサポーターの皆さんに語ってもらいました。

「初めにチームオレンジに参加しようと思っただけを教えてください」

伊藤さん 私は2年ほど前に『自分がどうなったら認知症って言われるのか』が知りたくて、認知症啓発のイベントに参加したのがきっかけでした。そこで学んだことで、認知症啓発について何かできないかと考え、チームオレンジほんじょうに参加しました。

佐藤さん 私は父や親戚が認知症だったので、認知症サポーター養成講座を受けました。みんなを見送った後、もつと自分にできることがあったのではないかと後悔の思いや、身近に認知症の人がいた経験を何かに生かしたいという思いがありました。そんな中、チー

ムオレンジの話聞いて飛びつきました。

高岸さん 私は、訪問介護関連の会社に転職したことを取ろうと思いついて、その勉強中に認知症サポーター養成講座も受けました。転職して地元に戻ってきて、何か地域の役に立てないかと考えていたところ、チームオレンジのキックオフを聞きやってみようと思いました。



伊藤さん そうですよ。実際集まれば、どんな世代

高岸さん 世代間ギャップみたいな感じで、若い世代が自分事として捉えていないからなのかなと思っています。私たちの世代が高齢者と若い世代の間に立って、橋渡しをしなければと思えますし、チームオレンジの活動もそんな役割を担っています。伊藤さん

でも和気あいあいとつながれる。良い制度や体制があっても、最後に運用するのはその地域の人だから、オレンジカフェ以外でも、地域の人の集まる場所がたくさんあることが大事なんだと思います。

「『認知症になってもお互い様なまち』にするためにどんな活動をしていきたいですか・どんな活動が地域に必要ですか」

高岸さん 今は居場所作りのひとつとしてオレンジカフェを開催していますが、内容を知らない方や外へ出ることに不安や負担を感じる高齢者や認知症の方が参加しやすくなるような手助けの活動ができないか考えています。例えば、そういう方たちと一緒に外に出て買い物したり、外出支援をするなどのフィールドワークも必要なのかなと思います。

伊藤さん 自分のまわりの小さなつながりを増やす活

チームオレンジほんじょう

サポーターの想い



伊藤さん

向こう三軒両隣みたいな考え方が大切



佐藤さん

人をつなぐ橋渡しをしたい



高岸さん

「活動の中で感じていることや持っている想いを教えてください」

佐藤さん 認知症になってすべてが壊れるわけじゃないというのを実感しています。例えば、徘徊と呼ばれる行動も本人には目的があります。私自身がよく知っていたら、もつとうまく接していったのかなという思いもあります。認知症について正しく伝えることで、認知症があまり身近にない方たちの持つイメージを変えたいですね。

高岸さん そうですよ。知ることって一番大事だと思います。私も持っている知識や経験を誰かに伝えたいので、地域活動に踏み出したので、地域活動に踏み出したんだと思います。

伊藤さん 確かに、認知症に接点がない方と実際に身近で見えた方とは、考え方やイメージに差があるのを感じます。私も認知症の方が身近になかったの



で、講演会などで学び、認知症についての自分なりのイメージを持っていました。しかし、認知症の方やその介護をしている方と直接関わると、想像していたイメージと違って悲壮感みたいなものがない方が多い。やっぱり外から見ると実際関わるのは違うなと思います。

高岸さん 表に出てきただけで、家庭内で抱え込んでいる方も多いかもしれませんね。

佐藤さん 認知症の家族がいることを外に知られるのが恥ずかしいって思う方もいると思います。

高岸さん まだまだ偏見も

動を、地域の皆さんにしてもらえると思うのでと思います。『地域で高齢者や認知症の方を支援する』というような大きな事をするわけではなく、近所付き合いみたいな小さな活動が大切なんだと思います。『ごみ出しの最中に会ったこともやおばあちゃんに声掛けする』みたいなものでも良いんです。日頃のつながりが地域を良くする大きな力になります。小さなつながりがあると、地域の困りごとや問題が見つかったり、相談や解決につながりやすくなる。そういった活動も広がると思います。

「地域活動に参加してみたいと思ってる方に向けてメッセージをお願いします」

伊藤さん 「なんでも良いんだよ」という事ですね。難しい事をするわけではなく、興味のあるものや友だち作りの感覚で、まずはやってみる。活動しようと意気込まずにやってみる。

と伝えたいです。

佐藤さん 私も興味のあるものを探して参加しています。認知症サポーター養成講座も広報紙を読んで興味を持ちました。やってみて合わなければやめてもいい。まずは気楽に参加してみるのが大切ですね。

高岸さん 地域活動は、地域のため・誰かの為にとより、まず自分の為、身近で興味のあるところから参加してみる。自分が楽しめるところから行く。それが結果として誰かの役に立つかもしれないし、ならないかもしれない。でもそれで良いんだよと言いたいです。

チームオレンジの活動について、詳しくは市HPへ

